

教科書検討の観点から見た特色

1 総合所見

学習指導要領の内容に対応して、題材ページなどが丁寧な解説とともにバランスよく構成され、生徒の実態に合わせた多様な学習が可能となっている。各題材には、学びのねらいを意識させる「タイトル」や「主文」を示し、生徒が意図をもって学習に取り組めるように「問いかけ」、「ひらめきワード」を記載している。特設ページ「FOCUS」「創造の舞台裏」「作家探究」に加え、「美術史料」では「現代につながる美術」「近現代の日本の建築史」など、現代社会を意識したページや二次元コードからも参照できる豊富な技法を掲載し、生徒の見方・考え方を深め主体的な学習に生かせるようにしている。

2 学習指導要領との関連

美術Ⅱの目標との関連	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された「美術Ⅱ」の目標及び内容を踏まえ、生徒が「造形的な見方・考え方を働かせ」て、「美的体験」を深め、「生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成できるように、A表現・B鑑賞を一体的に扱う題材と、B鑑賞を独立させた題材とを適切に配列し、題材を相互に関連付けながら学びが深められるようにしている。 学習指導要領の目標と内容が三つの柱で整理されたことを踏まえて、全題材で学びの目標を三つの観点で示し、指導と評価の視点を明確にしている。 	全体
表現及び鑑賞、共通事項の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 題材の設定については、「美術Ⅰ」の幅広い美的体験の上に立ち、「発想や構想に関する資質・能力」を育み、「技能に関する資質・能力」も身に付くよう配慮した題材例や制作過程などを示した。鑑賞題材では、「美術作品などに関する鑑賞」だけではなく、「美術の働きや美術文化に関する鑑賞」にも重点を置いた題材を示している。 「美術Ⅰ」と同様に、生徒が「造形的な見方・考え方」をより意識できるように、特設ページ「FOCUS」を設け、共通事項などの美術の特質に応じた物事を捉える視点や考え方を焦点化して学習できるように配慮している。 	全体、12・13、52・53、66・67

3 特色ある内容

目標と評価	題材ごとに資質・能力の三つの柱に基づいた学習のねらいや目標を明確に示しており、生徒の理解が深まる授業づくりに生かすことができる。	全体
紙面構成、表記・表現の工夫、	<ul style="list-style-type: none"> 各題材ページには、学びのねらいなどを意識させる「題材名」、「造形的な見方・考え方」などの学びの本質に気付かせる「問いかけ」、ヒントとなる「ひらめきワード」を配置しており、造形的な見方・考え方を深める構成となっている。 各題材及び巻末資料に、発想や構想の手がかりとなる考え方や基礎的な技法が具体的に示されており、表現活動に生かすことができる。 各ページには検索のためのインデックスを付け、ひらめきマーク、リンクマーク、課題マークなどを統一することで、学習に取り組みやすいよう留意している。 	全体
題材	<ul style="list-style-type: none"> 絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に学びを深める豊富な題材が掲載されている。 各題材及び巻末資料に、発想や構想の手がかりとなる考え方や基礎的な技法が具体的に示されており、表現活動に生かすことができる。 さまざまな美術Ⅰ教科書との接続を考慮し、「美術Ⅰ」の目標及び内容と連動して美術の学びがより深まる題材を設定し、掲載している。 	全体
特設ページ	特設ページを3つのカテゴリーで設定している。「FOCUS」では、共通事項等に関わる造形的な見方・考え方について、「創造の舞台裏」では作家の言葉から主題と作品の制作背景について、「作家探求」では、作家の生涯や代表作についての学びを深めることができる。	12・13、40・41、50～53、60・61、66・67

4 構成上の工夫

巻末資料	<ul style="list-style-type: none"> 各題材および巻末資料に、発想や構想の手がかりとなる考え方や基礎的な技法が具体的に示されており、表現活動に生かすことができる。 巻末資料として「現代美術を観る」「現代につながる美術」「アジアの美術」「近現代の日本の建築史」のページを設け、美術史の流れが現在につながっていることを意識させる構成になっている。 巻末資料として技法や色彩に関するページを設けており、題材指導の際に制作の流れや技法の指導に生かすことができる。 ポートフォリオによる学びの振り返りの提案、美術館の役割や鑑賞方法の紹介、著作権と肖像権への配慮、カラーユニバーサルデザインの解説など幅広い見方・考え方につながる配慮がされている。 	68～87
デジタルコンテンツ(二次元コード)	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから、作家インタビューや作品解説、制作技法の動画などの豊富なデジタルコンテンツを参照することができる。制作技法の動画では作品制作の一連の流れを早送りのように鑑賞できるタイムラプス動画も掲載している。 技法や色彩に関するページでは、映像メディア表現やデザイン等の技法ページに加え、「新・高校生の美術1」掲載の技法を二次元コードから参照することができる。 立体作品の鑑賞に有効な360度回転する作品画像を掲載している。 	全体、36
生徒作品	作家作品に加え、生徒作品を掲載しており、同世代の作品の鑑賞を通して、生徒のやる気を引き出す工夫がされている。	全体
造本上の工夫	A4ワイド版の紙面により、図版を大きく掲載するとともに、折り込みページの工夫により、これまでにない大画面で絵巻を鑑賞することができる。	全体、24～29
環境への配慮	表紙・本文ともに環境に配慮した紙が使用されている。印刷においては、植物油インキが使用されている。	全体